



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター

2016年2月10日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）2016年1月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No.: PR 16008

マドリッド

2016年1月18日

2015年国際観光客到着数は4%増の12億人に

最新のUNWTO世界観光資料（World Tourism Barometer）によると2015年の国際観光客到着数は全体で4.4%増の11億8,400万人となった。世界のデスティネーションを旅行した国際観光客到着数（一泊以上の訪問者）は、2014年に比べ約5,000万人増加した。

2015年の国際観光客到着数は2010年の世界経済危機以降、年4%またはそれ以上の増加となり6年連続で年平均成長率を上回った。

UNWTO タレブ・リファイ事務局長は、「2015年に国際観光は新たな高みに達した。観光部門の堅調な実績は世界的に経済成長や雇用創出に貢献している。それ故に、旅行の円滑化、人的資源の開発、持続可能性などの継続的な観光成長を支える政策を推進することは重要である。」と述べた。

全体としての需要は強かった。しかしながら異常な通貨高、石油やその他の商品価格の下落が輸入国における可処分所得を増やす一方、安全及び安心に対する懸念と同様に輸出国における需要を弱め、それぞれのデスティネーションにおいて複雑な結果が見られた。

更にリファイ事務局長は「2015 年は為替レート、石油価格及び世界各地における自然や人的災害の影響を受けた。現在、安全及び安心が強調されているように、観光部門の発展は、安全・安心で円滑な旅行を推進する我々の総合的な能力にかかっていることを思い起こすべきである。観光部門がさらされる脅威を最小化することを確実なものとするだけでなく、円滑な旅行と安全な旅行が両立するように観光部門の安心感と利便性を高めるために、UNWTO は各国政府に対し、国家安全保障に関する計画、体制、手続きに観光行政が関与するよう強く求めた。」と付け加えた。

ヨーロッパ（5%増）の堅調な伸びにより先進国・地域のデスティネーションの成長（5%増）は新興国・地域の伸び（4%増）を超えた。

地域別では、2015 年ヨーロッパ、米州及びアジア・太平洋の全てが 5%の成長を記録した。中東の到着数は 3%増加したが一方、アフリカは限定されたデータであるが、到着数の 3 分の一以上を占める北アフリカが弱含みの結果となり 3%減少すると推定している。

2016 年見通しは明るい

UNWTO 信頼指数(C Confidence Index)によれば、過去 2 年間と比べるとやや低いレベルであるが 2016 年については非常に明るい。UNWTO は直近の動向及び予測から 2016 年全世界で国際観光客到着数は 4%増加すると推定している。

地域別では、アジア・太平洋（4~5%増）及び米州（4~5%増、次いでヨーロッパ（3.5~4.5%増）がより強く伸びると期待される。アフリカ（2%~5%増）及び中東（2~5%増）は増加を示しているが、現状では不確定で不安定なデータを元にしており、取扱いには注意を要する。

2015 年地域別実績

ヨーロッパ(5%増)は絶対的、相対的に米ドル及びその他の主要通貨に対するユーロ安により成長を牽引した。到着数は 2014 年より 2,900 万人多い 6 億 900 万人に達した。中央・東ヨーロッパ(6%増)は到着数において昨年の低迷から回復した。

多くの成熟なデスティネーションからなる北ヨーロッパ(6%増)、南・地中海ヨーロッパ(5%増)、西ヨーロッパ(4%増)は堅調な結果を記録した。

アジア・太平洋(5%増)は昨年より更に 1,300 万人多い 2 億 7,700 万人を記録した。オセアニア(7%増)及び東南アジア(5%増)は成長を牽引し、一方、南アジア及び北東アジアも 4%の増加を記録した。

米州(5%増)の国際観光客到着数は 2014 年の力強い実績をもとに 900 万人増の 1 億 9,100 万人に達した。米ドルの為替レートの上昇が米国からのアウトバウンド旅行を刺激し、カリブ海及び中央アメリカが恩恵を受けており、両地域共に 7%の成長を記録した。南アメリカ及び北アメリカ(共に 4%増)の実績は平均に近かった。

中東の国際観光客到着数は 3%成長と見込まれ、合計で 5,400 万人に達すると予測している。

アフリカは限られたデータではあるが国際観光客到着数は合計で 3%減の 5,300 万人と見込まれている。北アフリカの到着数は 8%減、サハラ以南地域の到着数は昨年の後半期には好転したが、1%減となった。(アフリカ及び中東からのデータは、限定的であるため取扱いには注意を要する。)

中国、米国、英国が 2015 年のアウトバウンド成長を牽引

数少ない送客市場の強い通貨と経済により 2015 年の観光支出を牽引した。

世界の上位送客市場の中で中国は観光支出において 2004 年以来、2 桁成長でアウトバウンド旅行を継続的に牽引し、米国や様々なヨーロッパのデスティネーションに利益をもたらしているのと同様に日本やタイのようなアジアのデスティネーションに恩恵をもたらした。

一方、かつて非常に力強い送客市場であったロシア及びブラジルの支出は、両国の経済的制約及び他の全ての通貨に対するルール及びレアルの実質的な価値の下落を反映してかなりの減少をみせた。

伝統的な経済先進国の送客市場において、世界二位の送客市場である米国(+9%)と英国(6%増)は強い通貨と経済の持ち直しにより増加した。ドイツ及びイタリア、オーストラリアの支出は 2%増となり、カナダ及びフランスの需要は幾分弱かった。

「国際観光客到着数 2015 インフォグラフィック」

<http://media.unwto.org/infographics>

「UNWTO 世界観光指標」

<http://mkt.unwto.org/barometer>

「UNWTO ツーリズムハイライト」2015 年度版（無償）

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights>

「UNWTO2030 年予測」

<http://www.e-unwto.org/doi/book/10.18111/9789284414024>

○**UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)**とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**国連世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センターについて**

UNWTO は、1975 年 1 月に観光に関する国際機関として設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995 年に設立され、2012 年 12 月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：藤永、吉田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-ap.org

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

E-mail: media1@unwto.org

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法に関するお問合せは、UNWTO アジア太平洋センターにお問合せください。